

I 第37週の発生動向 (2013/9/9~2013/9/15)

- 手足口病については、上十三保健所管内では第28週から、八戸保健所管内では第30週から、東地方+青森市保健所管内では第32週から、むつ保健所管内では第34週から**警報**が継続しています。
- ヘルパンギーナについては、弘前保健所管内では第32週から、むつ保健所管内では第34週から、東地方+青森市保健所管内では第35週から**警報**が継続しています。

II 第37週五類感染症定点把握

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県感染症発生動向調査 TOP ページをご覧ください。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数	東地方(再掲)		青森市(再掲)	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		数	人/定点	数	人/定点
小児科+内科 (85) インフルエンザ														0					
小児科 (74) RSウイルス感染症			5	0.6	9	1.0	3	0.6			3	0.8	20	0.5	14				
(75) 咽頭結膜熱			2	0.2									2	0.0	1				
(76) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	0.5	1	0.1	19	2.1			4	0.7			28	0.7	18			4	0.5
(77) 感染性胃腸炎	21	2.6	7	0.8	5	0.6			1	0.2	5	1.3	39	1.0	8			21	2.6
(78) 水痘	5	0.6	2	0.2	8	0.9			1	0.2	2	0.5	18	0.4	9			5	0.6
(79) 手足口病	54	6.8	33	3.7	70	7.8	3	0.6	58	9.7	19	4.8	237	5.8	-7			54	6.8
(80) 伝染性紅斑														0					
(81) 突発性発しん	3	0.4	3	0.3	3	0.3	1	0.2	3	0.5			13	0.3	-5			3	0.4
(82) 百日咳														0					
(83) ヘルパンギーナ	31	3.9	39	4.3	2	0.2	10	2.0	11	1.8	8	2.0	101	2.5	-55			31	3.9
(84) 流行性耳下腺炎	2	0.3	13	1.4			1	0.2			1	0.3	17	0.4	1			2	0.3
眼科 (86) 急性出血性結膜炎														0					
(87) 流行性角結膜炎			1	0.3	1	0.5							2	0.2	-3				
基幹 (92) クラミジア肺炎														0					
(93) 細菌性髄膜炎														0					
(95) マイコプラズマ肺炎			1	1.0	2	2.0					1	1.0	4	0.7	-1				
(96) 無菌性髄膜炎														0					

は警報 は注意報。「空欄」：患者発生無し。

III 全数把握疾患 (掲載数は最新情報)

- (10) 結核(二類全数把握疾患)：青森市3人、八戸2人、東地方1人 (2013年計:223人)
- (17) 腸管出血性大腸菌感染症(三類全数把握疾患)：弘前1人、八戸3人、むつ1人 (2013年計:46人)
- (64) アメーバ赤痢(五類全数把握疾患)：弘前1人 (2013年計:4人)
- (75) 梅毒(五類全数把握疾患)：青森市1人 (2013年計:2人)

IV 病原体検出情報

( )内は、検査材料及び検体採取日、患者数です。

- ・無菌性髄膜炎患者1名(髄液、8/22)・・・**コクサッキーウイルスB3型**：八戸(1)
- ・手足口病患者5名(咽頭ぬぐい液、髄液、直腸ぬぐい液、8/21~8/26)・・・**エンテロウイルス71型**：八戸(3)、**コクサッキーウイルスA6型**：弘前(1)、**コクサッキーウイルスA5型**：弘前(1)
- ・ウイルス性発疹患者1名(直腸ぬぐい液、咽頭ぬぐい液、8/27)・・・**コクサッキーウイルスB3型及びコクサッキーウイルスA6型**：弘前(1)

感染症の窓

アメーバ赤痢 (五類全数把握疾患)

表 年別患者報告数

年	全国	県内
2003	520	0
2004	587	0
2005	658	3
2006	373	1
2007	435	1
2008	529	4
2009	786	4
2010	845	3
2011	814	2
2012	931	3

病原体の赤痢アメーバ(Entamoeba histolytica)は原虫で、原虫のシスト(嚢子)に汚染された飲食物などの経口摂取により感染します。シストは胃を経て小腸に達して脱シストして栄養型となり、分裂を繰り返して大腸に到達し、大腸粘膜面に潰瘍性病変を形成し、赤痢アメーバ性大腸炎を発症させます。大腸炎症例の5%ほどが腸管外病変を形成し、その大部分は肝膿瘍ですが、まれに心臓、肺、脳、皮膚などの赤痢アメーバ症も報告されています。

症状は、通常2~3週間の潜伏期間後に、粘血の混じる下痢、しぶり腹、排便時下腹部痛などを呈します。(参考：IDWR「感染症の話」)

国内の患者報告数は、年により変動し、2012年は過去10年間で最多でした。県内では、年間0~4人で推移していますが(表)、2013年は第37週までに4人報告されています。

V 保健所管内別全数把握疾患発生状況

2013年第22週～第37週

週	期間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
22	H25.5.27 ~ H25.6.2	侵襲性肺炎 球菌感染症1人	バンコマイン耐性 腸球菌感染症1人	つつが虫病1人 アメーバ赤痢1人 風しん1人	つつが虫病1人 風しん1人		
23	H25.6.3 ~ H25.6.9		破傷風1人				
24	H25.6.10 ~ H25.6.16		つつが虫病1人	腸管出血性大腸菌感 染症1人 つつが虫病1人	つつが虫病1人		
25	H25.6.17 ~ H25.6.23		つつが虫病1人	つつが虫病1人			
26	H25.6.24 ~ H25.6.30		つつが虫病2人 クロイツフェルト・ヤコブ 病1人				
27	H25.7.1 ~ H25.7.7	腸管出血性大腸菌感 染症2人	腸管出血性大腸菌感 染症2人	腸管出血性大腸菌感 染症1人	つつが虫病1人	つつが虫病1人 風しん1人	腸管出血性大腸菌感 染症1人
28	H25.7.8 ~ H25.7.14	腸管出血性大腸菌感 染症1人	腸管出血性大腸菌感 染症3人			腸管出血性大腸菌感 染症2人	
29	H25.7.15 ~ H25.7.21	つつが虫病1人					
30	H25.7.22 ~ H25.7.28		腸管出血性大腸菌感 染症1人	腸管出血性大腸菌感 染症1人 つつが虫病1人 レジオネラ症1人			
31	H25.7.29 ~ H25.8.4		腸管出血性大腸菌感 染症1人	腸管出血性大腸菌感 染症1人	腸管出血性大腸菌感 染症1人		
32	H25.8.5 ~ H25.8.11						
33	H25.8.12 ~ H25.8.18		腸管出血性大腸菌感 染症1人				
34	H25.8.19 ~ H25.8.25		レジオネラ症1人	腸管出血性大腸菌感 染症2人			
35	H25.8.26 ~ H25.9.1	腸管出血性大腸菌感 染症2人	腸管出血性大腸菌感 染症1人 侵襲性インフルエンザ 菌感染症1人	腸管出血性大腸菌感 染症1人	E型肝炎1人		
36	H25.9.2 ~ H25.9.8		劇症型溶血性レンサ球 菌感染症1人			アメーバ赤痢1人	
37	H25.9.9 ~ H25.9.15	梅毒1人	腸管出血性大腸菌感 染症1人 アメーバ赤痢1人	腸管出血性大腸菌感 染症3人			腸管出血性大腸菌感 染症1人

VI 結核(二類全数把握疾患)

2013年第30週～第37週

単位：人

週	期間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
30	H25.7.22 ~ H25.7.28	1		3	1	1	
31	H25.7.29 ~ H25.8.4	1	1	1	1	2	2
32	H25.8.5 ~ H25.8.11	4	2			1	
33	H25.8.12 ~ H25.8.18				1		
34	H25.8.19 ~ H25.8.25			1	2	1	
35	H25.8.26 ~ H25.9.1	1	1	1			
36	H25.9.2 ~ H25.9.8	3	2	2		1	
37	H25.9.9 ~ H25.9.15	4		2			

VII 全数把握疾患発生状況(全国-青森県)

(注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています)

分類	2013年第1週～第35週累計																				
	二類	二類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	
疾病名	急性灰白髄炎	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコクス症	オウム病	Q熱	コングジオリデス症	重症熱性血小板減少症候群	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症	マラリア	ライム病
累積報告数	1	17729	2	101	2505	40	35	86	97	12	8	3	3	36	9	142	151	80	2	29	13
分類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎	侵襲性肺炎球菌感染症	先天性風しん症候群	梅毒	破傷風	バンコマイン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん	髄膜炎
累積報告数	2	695	11	697	188	259	11	141	141	1000	50	68	15	550	13	803	91	40	13937	191	2

青森県

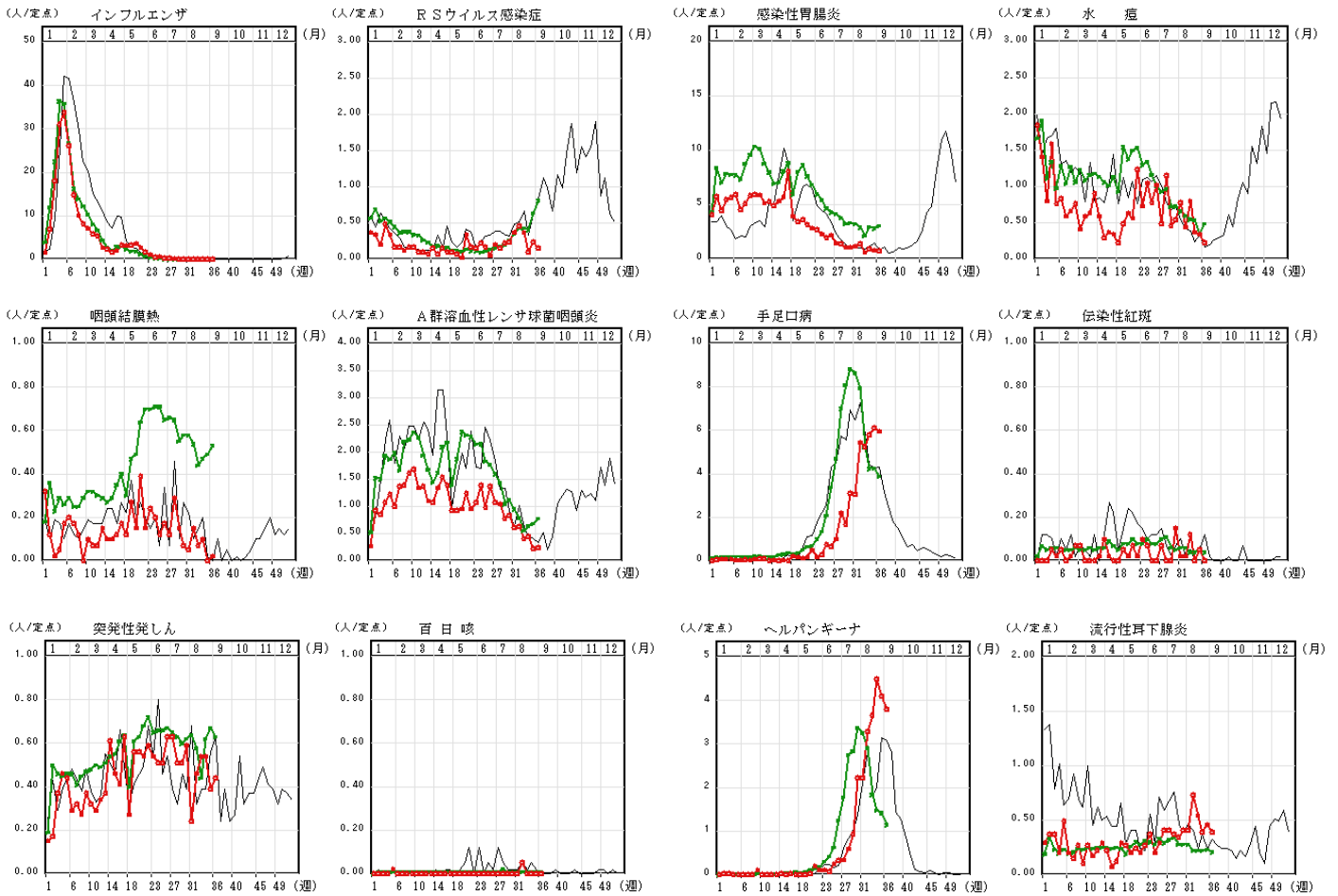
(2013年第1週～9月17日16時30分累計)

分類	2013年第1週～9月17日16時30分累計																			
	一類	二類	三類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類			
疾病名	M33.1.0	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	急性脳炎	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	梅毒	破傷風	バンコマイン耐性腸球菌感染症	風しん			
累積報告数	青森県		223	46	3	16	3	4	2	2	2	2	2	1	1	2	1	1	1	8

Ⅷ インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移

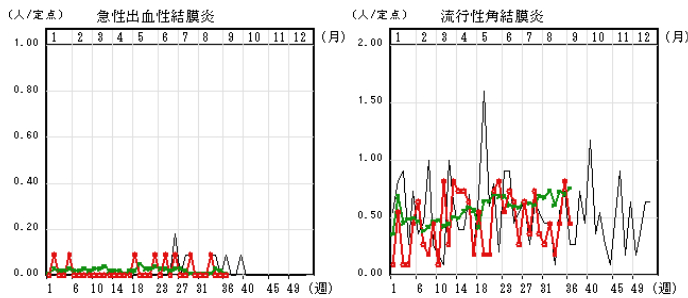
2013年第36週

グラフの説明 ○—○は2013年青森県、—は2012年青森県、×—×は2013年全国



Ⅸ 眼科定点把握疾患週別推移

2013年第36週



X 基幹定点把握疾患週別推移

2013年第36週

